

OMAEZAKI 2026 -2033

第3次 御前崎市総合計画

概要版

令和8年3月

御前崎市



御前崎市 の強み

全国の市・特別区の中で、
日照時間が1番長いまち



県内**1位**
全国**1位**

1位 / 815市・特別区

静岡県内の市立図書館の中
で、千人当たりの貸出冊数が
1番多いまち



県内**1位**

静岡県内で介護認定
率が12.9%と1番低く、
健康な方の割合が高
いまち

県内**1位**



静岡県内の市の中で、ごみ
のリサイクル率が2番目に
高く、環境にやさしいまち



県内**2位**
全国**100位**

静岡県内の市の中で、千
人当たりの交通事故件数
や刑法犯認知件数が1番
少ない、安全なまち



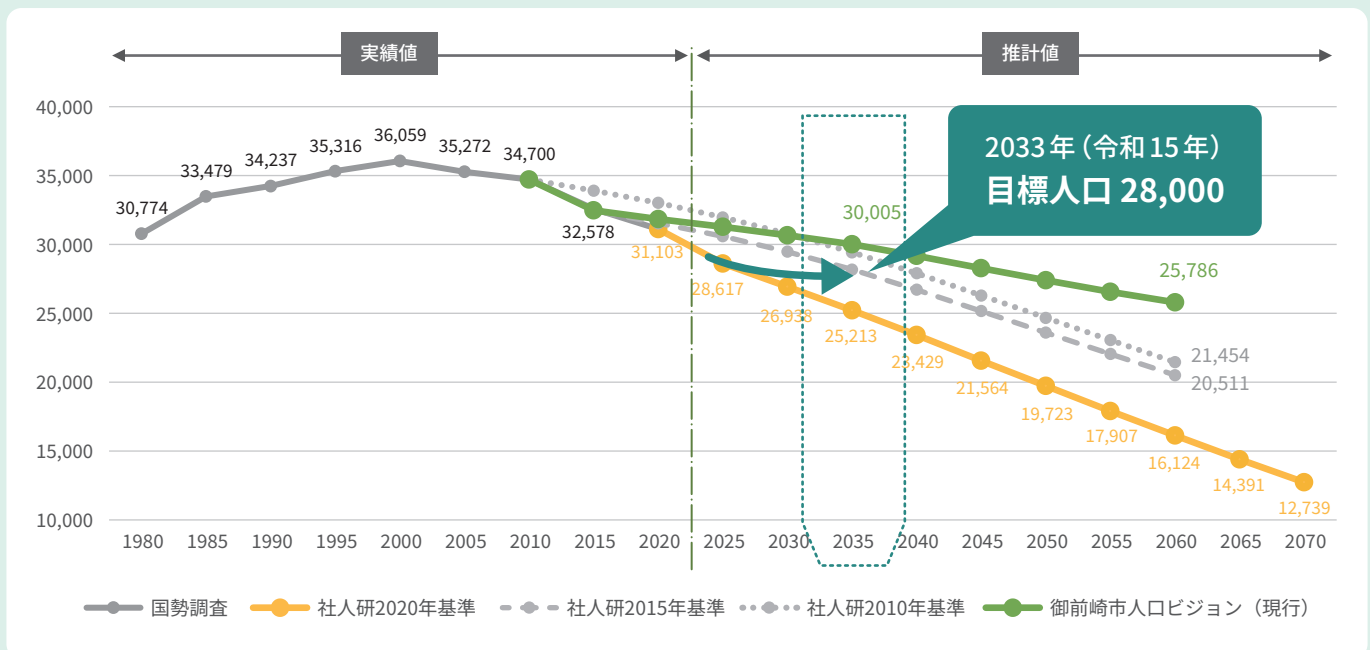
県内**1位**

100位 / 815市・特別区

注) 日照時間、交通事故件数、刑法犯認知件数は、【株式会社東洋経済新報社「都市データパック2024」】より。
ごみのリサイクル率は、【統計局「統計でみる市区町村の姿2024」】より。
介護認定率は、【厚生労働省「地域包括ケア「見える化」システム」】より。

御前崎市の目標人口

第3次御前崎市総合計画においては、前期4年間で様々な施策を講じながら、土台を築き、後期4年間で人口減少の抑制効果を創出することで、本計画の目標年次である2033年(令和15年)の目標人口を28,000人と設定します。



御前崎市の課題

1. 人口減少を克服し活気あふれる社会へ

- 将来にわたって活力ある持続可能なまちを実現するため、人口の将来展望（御前崎市人口ビジョン）の目標達成に向け、人口減少対策を推進する必要があります。

2. 防災・減災、国土強靱化で災害に強い社会へ

- 近年の大規模な地震や風水害による被害の発生、南海トラフ巨大地震などの大規模災害が想定されているなか、市民の命と暮らしを守り抜くため、防災・減災対策の更なる強化・充実に向けた取組みを進める必要があります。
- 国や県、防災関係機関との協議を進めながら、一つずつ計画の実行性を高めていく必要があります。

3. 自治体DXを推進し誰もが暮らしやすい社会へ

- 市民が利用しやすい行政サービスを提供していくために、最新のデジタルテクノロジーを活用し、自治体の業務プロセスや、提供する公共サービスの変革を進めていく必要があります。

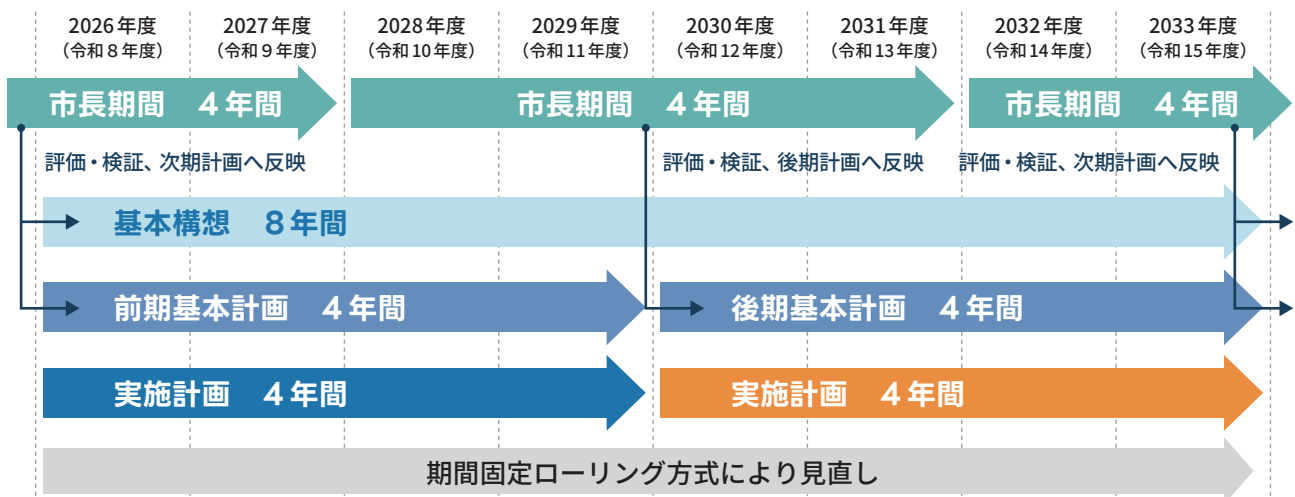
4. GXで環境にやさしい社会へ

- 持続可能なまちを次世代へ継承するためには、地域資源を活用して持続可能な社会の構築を目指し、自然環境、社会、経済を調和させる、市民、事業者、行政が一体となった取組み（共創）が求められています。

5. 持続可能な自治体経営へ

- 財政状況**
- 市民が将来にわたって安定的な行政サービスを受けられるようにするため、財政運営に経営の視点を取り入れ、安定した歳入を確保するとともに、新たな財源確保に取り組んでいく必要があります。
- 公共交通**
- 公共交通に関して、市民が安心して生活できるように、特に御前崎市内線に関して、利用しやすいダイヤや運行ルート、運行形態などについて検討を行い、早期の利便性の改善に向けて取り組んでいく必要があります。
- 医療・介護**
- 市民に対する医療機能・体制を維持・充実していくために、市内の診療所はもとより、隣接する自治体との広域連携を進めていく必要があります。
 - 疾病予防、重症化防止を図るとともに、高齢化に伴い増加する医療・介護ニーズに対し、医療と介護、福祉が連携を図り、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域包括ケアシステムを推進するなど、今後、複合化・複雑化する支援ニーズに対応するために、制度や分野ごとの支援体制を超えて、市民や地域の多様な主体が参画し、人や資源が世代を超えてつながる地域共生社会の実現が重要となります。

総合計画の計画期間



将来都市像	安心と希望を未来へつなぐ															
基本目標	基本目標 1 安心して安全に暮らせる強靱なまち			基本目標 2 人と自然を思いやるまち			基本目標 3 地域特性を活かし心豊かに暮らせる持続可能なまち				基本目標 4 共に支え合う健康と福祉のまち					
政策	<ul style="list-style-type: none"> (1) 災害に強いまちの実現 (2) 消防力の強いまちの実現 (3) 犯罪や交通事故の少ないまちの実現 			<ul style="list-style-type: none"> (1) ゼロカーボンシティの実現 (2) 将来にわたりきれいな水を守るまちの実現 (3) いつでも安心して飲める水道の実現 			<ul style="list-style-type: none"> (1) 住みやすく暮らしやすいまちの実現 (2) 利用しやすい道路環境が整うまちの実現 (3) 災害から市民を守る河川水路の実現 (4) 憩いくつろげるまちの実現 				<ul style="list-style-type: none"> (1) まちの実現 自らの心と体の健康づくりができる (2) みんなの笑顔があふれるまちの実現 すべての子ども・若者が輝き (3) 地域が一体となって支援できるまちの実現 (4) 誰もが社会参加できるまちの実現 (5) 信頼される医療体制があるまちの実現 					
施策	<ul style="list-style-type: none"> ① 災害対策の充実と強化 ② 原子力防災対策の充実 ① 消防体制の充実 ② 救急業務への理解・火災予防の推進 ① 防犯体制の強化 ② 交通安全対策の充実 			<ul style="list-style-type: none"> ① 自然環境の保全 ② 脱炭素社会構築の推進 ① 生活排水処理による公共用水域の水質汚濁防止 ② 下水道事業の健全経営 ③ 下水道施設の適切な維持管理の推進 ① 水道施設の耐震化 ② 水道事業の健全経営 			<ul style="list-style-type: none"> ① まちづくり計画の再構築 ② 景観に配慮したまちづくりの推進 ③ 多くの人が利用しやすい利便性の高い公共交通の構築 ① 道路整備計画の見直しと推進 ② 道路施設の修繕推進 ① 市内水路の容量不足の解消 ② 管理河川の河道及び堤防の維持管理の推進 ① 公園の適切な維持管理の推進 ② 市営住宅の適切な維持管理の推進 				<ul style="list-style-type: none"> ① 健康づくりの推進 ② 疾病予防の推進 ① 子どもの育ちをみんなで支える地域づくりの推進 ② 子どもの育ちをみんなで支える地域づくりの推進 ③ 困難を抱える子どもとその家族への支援の充実 ① 住み慣れた地域で自立した生活ができる環境の構築 ② 生きがいを感じられるチャレンジできる環境の構築 ③ 障がいのある人の暮らしを支える体制の構築 ① 地域での暮らしを支える体制の構築 ② 地域医療の確保と連携強化による医療体制の構築 ① 市民が安心して利用できる総合病院の確立 					

注) 実施計画は別冊とし、主な事業は施策の進捗状況の確認、PDCA サイクルによる評価を意識した実施計画とします。

人が自然と共生するまち 御前崎

基本目標 5

地域資源を生かした
活力ある産業と
交流で賑わうまち

- (1) 観光交流の盛んなまちの実現
御前崎ならではの資源を生かした
- (2) 持続可能な農林水産業があるまちの実現
- (3) 活力あふれる商工業の実現

- ① 地域の特徴を活かした観光による賑わいの創出
- ② 受入体制の構築と充実
- ③ スポーツやイベントなど交流による賑わいの創出
- ① 農林水産業の振興を支える生産基盤の整備・充実
- ② 農林水産業の振興を支える生産基盤の整備・充実
- ③ 農林水産物のブランド化と販売の促進
- ① 市内中小企業・小規模企業の振興
- ② 新たな企業の進出支援
- ③ 御前崎港の整備促進と物流機能の強化

基本目標 6

郷土を愛し
世界に通じる人を
育むまち

- (1) 子どもが育つ基盤のあるまちの実現
- (2) 途切れない教育で子どもの育成を推進するまちの実現
- (3) 学びの環境があるまちの実現
自らの選択で何度でもチャレンジできる
- (4) 新しい伝統を創造するまちの実現
地域の歴史や文化を継承し、

- ① 子どもたちの心と体を支える魅力ある学校給食の提供
- ② 子どもたちが可能性に挑戦できる教育環境の整備
- ③ 変化の激しい社会を生き抜くための資質・能力の育成
- ④ 生きていく力の基礎の育成
- ① 市の特色を生かした人としての根を養う教育の推進
- ② 地域・学校・家庭が連携・協働した市全体の教育力の向上
- ① 文化・芸術活動の継承と振興
- ② 歴史・文化の継承と保存・活用の推進
- ③ 心身ともに健康な市民を目指したスポーツの振興
- ④ 市民の豊かな心を育み、暮らしに寄り添う図書館の創造
- ① 笑顔でつながる学びの輪の醸成

基本目標 7

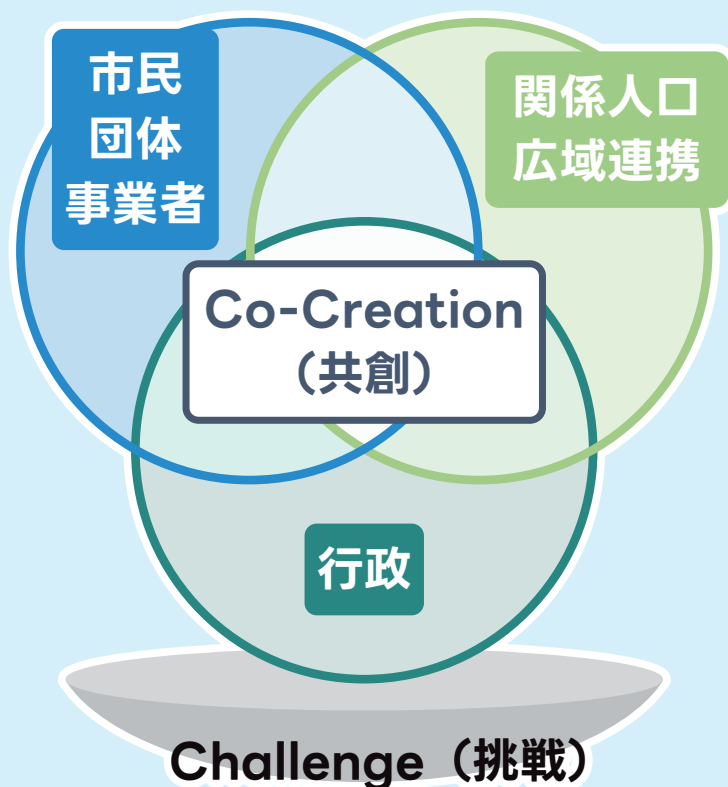
多様化する社会に
対応できる
持続可能なまち

- (1) チャレンジできる行政組織の実現
- (2) 安定した財政運営ができるまちの実現
- (3) 利便なまちの実現
自治体DXの推進により行政手続が簡単で
- (4) 市民力・地域力が向上するまちの実現
- (5) エネルギーのあるまちの実現
地域特性を活かした

- ① 移住・定住化の推進
- ② 市民の生活を高める情報の発信
- ③ シティプロモーションの推進
- ④ 市民の期待に応える人材の育成
- ① 最も適な公共施設マネジメントの推進
- ② 広域連携による効率的な行政運営の推進
- ③ 長期的な視点を持った財政運営の推進
- ① デジタル技術の活用推進とデジタル人材の育成
- ② 情報化の活用推進とデジタル人材の育成
- ① 市民や団体が主体となり活躍できる地域の創造
- ② ともに築く参画と共生のまちづくりの推進
- ③ エネルギーに対する理解促進
- ④ エネルギーに対する理解促進
- ⑤ 原子力発電所の立地を活かした地域発展の推進
- ① 再生可能エネルギー設備の導入促進及び効率的な活用

御前崎市の将来都市像

基本理念



- これからの御前崎市では、誰もが「挑戦」できるまちであり、みんなの「挑戦」によって築くまちづくりを目指します。
- また、市民や市内事業者、行政だけでなく、市外の関係人口も含めて、多様な主体が共に協働・連携しまちづくりを行う、「共創」によって築くまちづくりを目指します。

Challenge (挑戦)

誰(市民、団体、事業者、関係人口)もが挑戦できるまち

みんなの(主体的な)挑戦によって築くまち

Co-Creation (共創)

共に創る御前崎

市民、団体、事業者、関係人口、行政、広域連携など、様々な主体が共創するまち

将来都市像

安心と希望を未来へつなぐ 人が自然と共生するまち 御前崎



- 市民の誇りである豊かな自然を大切に、市内外との交流・連携によって、自然の恵みや地域特性を活かした、賑わいと産業の創出により、市民が夢と希望を持ち、笑顔で安心して暮らせる御前崎市を築くことを目指します。
- また、御前崎市が抱える様々な課題に対しても、まちづくりの基本理念である「挑戦」と「共創」によって、新たな取組みの創出や既存の取組みの見直しなどを行い、持続可能な新しい御前崎市の実現を目指します。

将来都市像を実現する基本目標

(1) 安心して安全に暮らせる強靱なまち（防災・危機管理分野）

過去の災害を教訓として、自ら命を守る「自助」、地域で助け合う「共助」、被害を最小限に抑え、迅速に回復する強靱なまちづくりに向け、避難路整備や防災訓練などハード、ソフト対策による「公助」を推進することで、災害時に自ら考え行動できるように、行政と市民が共に手を取り、安心して安全に暮らせる強靱なまちを目指します。

(2) 人と自然を思いやるまち（環境・市民生活分野）

御前崎市の海・山など、豊かな自然を保全するとともに、地域特性を活かした再生可能エネルギーや、ブルーカーボンなどの導入による地球温暖化防止対策、生活排水対策や公害対策などにより、快適な生活環境の整備を積極的に進め、環境に負荷をかけない、人と自然を思いやるまちを目指します。

(3) 地域特性を活かし心豊かに暮らせる持続可能なまち（都市基盤分野）

豊かな自然と温暖な気候に恵まれた御前崎の優位性を活かし、景観や利用者の利便性・効率性に配慮した道水路のインフラの維持整備、公共交通網の確立などにより、地域特性を活かし心豊かに暮らせる持続可能なまちを目指します。

(4) 共に支え合う健康と福祉のまち（健康福祉分野）

すべての人が、地域で起きている子どもから高齢者までの問題に関心を持ち、自ら参画することや地域の多様な担い手になることにより、地域課題を解決できる仕組みづくりを推進するとともに、困難を抱える子どもや人に地域の支援者や相談機関、行政が連携を図り一人ひとりの権利が守られるよう権利擁護に努め、誰もが健康づくりや生きがい活動に取組むことで、いつまでも健康でいきいきと暮らし、共に支え合う健康と福祉のまちを目指します。

(5) 地域資源を生かした活力ある産業と交流で賑わうまち（経済産業分野）

豊かな自然に根差した御前崎ならではの観光資源を活かし、交流人口の拡大による賑わいの創出を図るとともに、農林水産業の生産性や収益性の向上、既存産業の成長や起業・創業による商工業の更なる振興と多様な雇用の創出により、地域資源を活かした活力ある産業と交流で賑わうまちを目指します。

(6) 郷土を愛し世界に通じる人を育むまち（教育分野）

園、学校、家庭、地域、行政がスクラムを組んで協働するスクラムプランを基本に、一人ひとりの個性を大切にされた途切れのない教育により、子どもの成長を支えるとともに、世代を問わずすべての人が御前崎市の歴史や文化を知り、身近に感じることができる学びの場、情報の発信や交流の環境を整えることにより、郷土を愛し世界に通じる人を育むまちを目指します。

(7) 多様化する社会に対応できる持続可能なまち（経営管理分野）

多様化する地域課題に対して、財源の適切な確保と、効果的、効率的な運用を進め、人材の育成、デジタル技術の活用など創意工夫による行政運営を行うことで、市民や地域、まちづくり団体、市内外の事業者などとの協働によるまちづくりを推進し、多様化する社会に対応できる持続可能なまちを目指します。

将来都市像が目指す まちの姿

人と自然を思いやるまち

再生可能エネルギー産業が
増えている

豊かな自然
に癒される

安心して安全に暮らせる
強靱なまち

自助・共助・公助により
地域防災力が
高まっている

防災・減災に
力を入れている



共に支え合う
健康と福祉のまち

まち全体で
ウェルビーイングに
取り組んでいる

誰もが笑顔で
幸せに暮らしている

地域や広域連携により
医療体制が確立されている

「安心と希望を未来へつなぐ」

地域資源を生かした
活力ある産業と交流で
賑わうまち



関係人口が増え、賑わいが
創出されている

海・山など自然・レジャーを
活かしたワーケーションが
進められている

ビジネスチャンス
を掴もうとする
ベンチャー企業や中小企業が
チャレンジしている

電源地域の強みを
活かした、新たな産業が
創出されている

地域特性を活かし
心豊かに暮らせる持続可能なまち

リノベーション
(修復、刷新、改革)による、
まちづくりが進められている

コンパクトで
メリハリがある

地域連携や先端技術で、
移動しやすい



郷土を愛し
世界に通じる人を育むまち

人が自然と共生するまち 御前崎」

多様性に配慮でき
豊かな環境を
活かしている



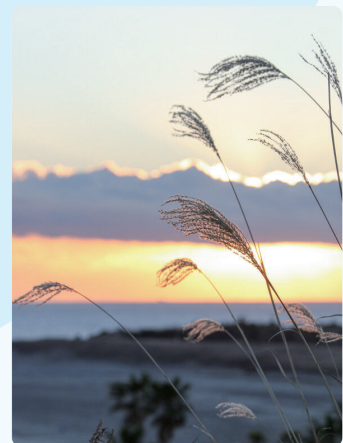
グローバル社会で活躍できる
人材の育成が盛ん

多様化する社会に
対応できる持続可能なまち

誰でも、新しいことに
チャレンジしている

広域連携
(周辺市町村との連携)
が推進されている

低予算で効果的な施策を
考え実施している



重点プロジェクト

(地方創生に関する総合戦略)

将来都市像 **安心と希望を未来へつなぐ 人が自然と共生するまち** 御前崎

「挑戦」「共創」

重点プロジェクト1

ひとを育てる プロジェクト **人が育つまち**

人口減少・人口流出に対し、教育・子育て環境など、若者の未来を支え、将来への可能性を感じられる「御前崎」を築く



- 新しくチャレンジする取組み
- 新しく生み出す取組み など

グローバル社会で活躍できる人材の育成

誰でも、新しいことにチャレンジ出来る仕組の構築

- 多様な主体と協働する取組み
- 互いに支え合い連携する取組み など

一人ひとりを大切にする、教育環境の構築

誰も取り残さない、全市で支える子育ての実現

重点プロジェクト2

まちを整える プロジェクト **持続可能なまち**

甚大化する自然災害に対応でき、日々の生活利便性が向上し、より質の高い暮らしができる「御前崎」を築く



- 新しくチャレンジする取組み
- 新しく生み出す取組み など

コンパクトでメリハリがある持続可能な都市構造の実現

地域連携や先端技術による移動利便性の向上

- 多様な主体と協働する取組み
- 互いに支え合い連携する取組み など

自助・共助・公助による地域防災力の向上

地域や広域連携による医療体制の確立

重点プロジェクト3

しごとを創る プロジェクト **仕事生まれるまち**

低迷する地域経済に対し、地域特性を活かした活躍の場づくりにより、雇用や関係人口・交流人口を拡大し、経済が循環する「御前崎」を築く



- 新しくチャレンジする取組み
- 新しく生み出す取組み など

ベンチャー企業や中小企業がチャレンジできる仕組みの創出

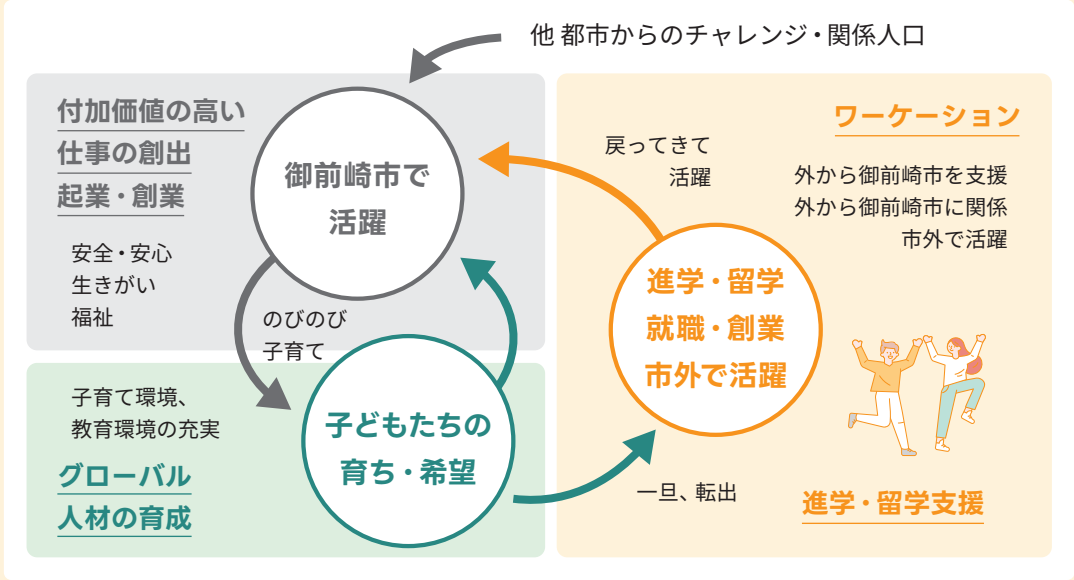
海・山など自然・レジャーを活かしたワーケーション等、交流の促進

- 多様な主体と協働する取組み
- 互いに支え合い連携する取組み など

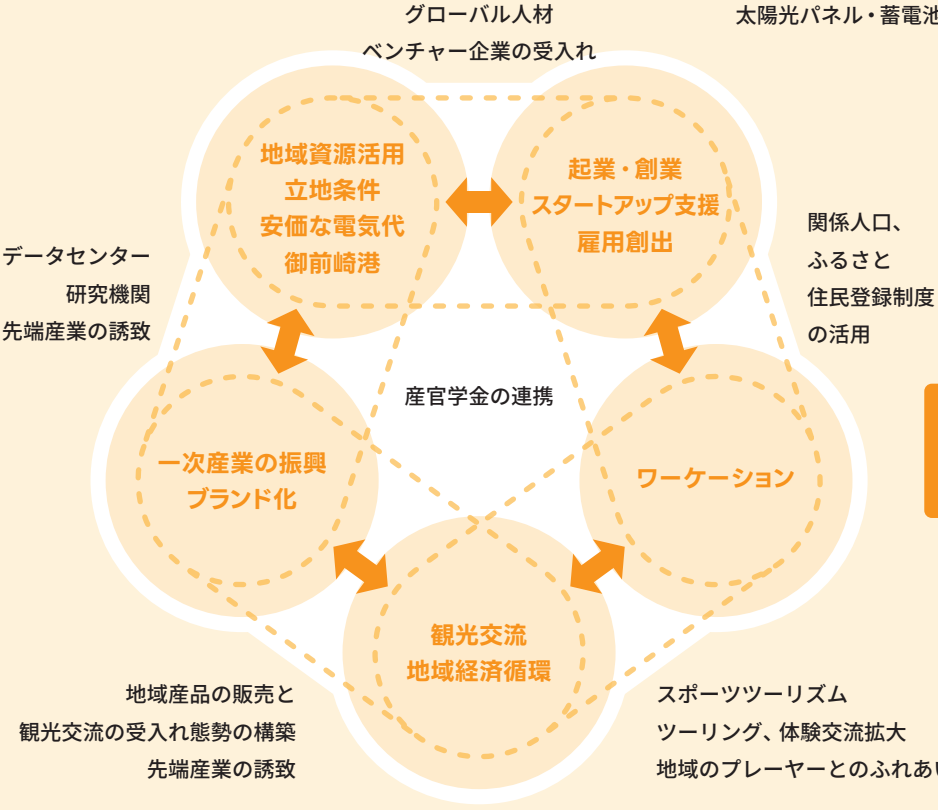
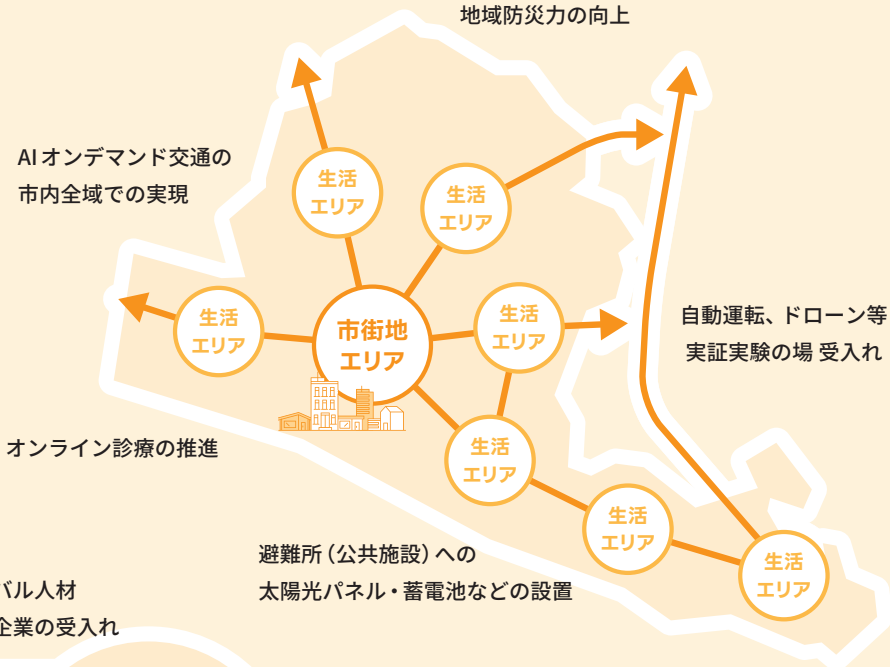
GX(グリーントランスフォーメーション)を活かした産業の創出

地域経済循環(観光交流×産業振興)を支える地域商社機能の創造

ひとを育てるプロジェクト



まちを整えるプロジェクト



しごとを創るプロジェクト

第3次御前崎市総合計画 **概要版**

2026年(令和8年)3月

御前崎市 総務部 企画政策課

〒437-1692 静岡県御前崎市池新田5585番地

TEL 0537-85-1161 FAX 0537-85-1137